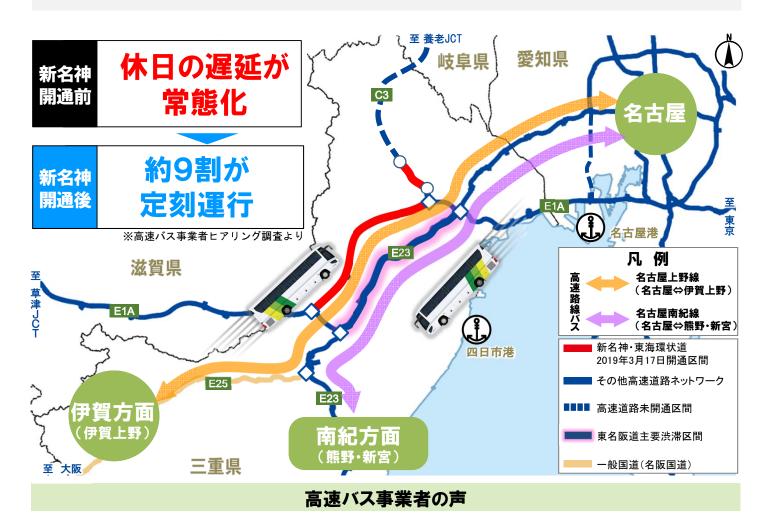
開通効果③

高速バスの定時性が大幅に向上

別紙2

- ○東名阪道の渋滞により、伊賀方面や南紀方面と名古屋間の休日の高速バス路線の 遅延が常態化、利便性が大きく低下していた。
- ○新名神開涌後は高速バスの定刻運行が可能となり、それにより車両・ドライバーの 効率化がはかられ、今後、ドライバーの働き方改革までも期待される。



■新名神開通による運行状況の変化

運行状況による効率性の変化(休日)



- ・伊賀や南紀方面と名古屋間の路線では、東名 阪道の渋滞で、特に休日はバスの遅延が常態 化していましたが、新名神開通後は、概ね定 刻運行ができています。
- 渋滞による遅延に<u>予備車両とドライバーを余</u> 分に確保していましたが、定刻運行が可能と なり、効率的な運行ができるようになりまし た。
- 更に渋滞を考慮しないダイヤ 改正が可能なので、<u>ドライバー</u> の働き方改革にもつなげたい です。

高速バス 事業者